

謹賀新年

併せて各位の御多幸と猪の年にふさわしい御精進を祈り尚本誌会員の倍加と内容充実に御協力を願います

一月一日

大分県地方史研究会

委員長 渡辺澄夫
外 委員 一同

◎会報

一、会費納入お願い

未納の方は至急御納入下さい

昭和卅四年度分も、そして定期刊行致しましよろ。

二、寄稿は広くて速く

出来るだけ各地会員の考古民俗歴史其他と広範囲に亘る御研究を早目に御寄稿願います。

編集後記

一六二

会費納入の都合上規定の季刊が出来ず、止むなく又候合集し年刊となりました。然し渡辺、中野両氏の日田津江に關連する研究は、共に従来の日田郷土史が広く深く掘り下げられ、啓蒙される点多大。田北氏の朽網親滿に就ての研究もさすが大友氏研究の権威としてその所論は新しく、着想、所説共に敬服に値するものである。北村氏の巡見使に關する研究も昭藩地区大野、直入の当時の様子をはつきり知ることが出来て有り難い。染矢氏の市の地名は定評ある好研究で益々面目が発揮され、後藤氏の明礬史話も新資料で面白い。安部、野田、佐藤、土屋氏は何れも新進気鋭、それぞれ得意の面からの研究成果で教えられるところが多い。引き続きこの合集年刊で申訳ないが、幸所収内容が会員各位の御期待に添うもので聊かお詫が出来るのではないかと思ふ。

(立川)

昭和三十三年十二月三十日 印刷
昭和三十四年一月五日 発行

会費 年三〇〇円 分売は本号に限り 三〇〇円

編輯兼 渡辺澄夫
発行人 代表者

印刷所 高井久雄
大分市上野 電話三七七五番

印刷所 三恵印刷株式会社

発行所 大分市 大分大学
学部 国史研究所内
分県地方史研究会

(振) 〇〇〇〇